

音楽の正体

IDENTITY OF MUSIC

演奏法…「書は体をあらわす」

この講座（レクチャー）は6回を予定しています、その第三回目。

今回は1部と2部に分けてやることにしました。第一部では「実技・演習」に重点をおいて行い、第二部では「理論」に重点をおいて行う予定です。前回の、Part2「リズムは快感」の補講と復習をかねた内容と、“心理が投影した身体リズム”から演奏について考えてみたいと思います。

第4回目は「指揮法」と続き第5回、6回はフルトヴェングラー等を聴きながら、演奏法、歌唱法について話します。

↓第一面で紹介された第一回目の講座の記事。

河北新報

2009年(平成21年) 11月27日(金)

河北新報社
仙台青葉区本町1-3-2
電話022-2311111
総合案内 1111
読者相談室 1447
印刷編集部 1146

元宮城教育大教授で音楽評論家の鮎屋善敏さん(77)＝東松島市＝が、仙台市内で講座「音楽の正体」を開いている。体の緊張と弛緩(しかん)、発声の高低や緩急といった人間本来

のリズムを波や風などの自然に倣って意識し、体得してもらう。鮎屋さんは「音楽だけでなく、創作活動全般やスポーツ、健康増進にも役立つ」と強調している。

体感 自然のリズム 体得

講義するのは、「リトミ明。参加者は体を脱力させ、ツク」と呼ばれる音楽教育たり緊張させたりするリズムに基づいたリズム論。ム運動や、全身を使った発声法に基いたリズム論。声方法を実践した。6回続きで、2回目を29日午後3時半から、市青年文。鮎屋さんはイタリア伝統化センター(青葉区)で開のベルカント唱法と指揮法を学び、1980、98年、講座は月1回程度開き、10月3日に青葉区のエル宮城教育大で幼児教育と表現を踏まえた音楽論など。パーク仙台であった1回。現を教えた。80年ころから。鮎屋さんは「人的島市」で、子どもや大人と。資料代500円で当日。建築物や機械と違い、波。芸術を通じた共同生活を。参加も可能。連絡先は創作。人の話し言葉のリズ。卒業生は100。村OONUMA(000)379ムには揺らぎがある」と説人を超えた。

仙台で音楽講座開設

元宮城大教授・鮎屋善敏さん



体を緩めたり、緊張させたりして、音楽とリズムの楽しさを伝える鮎屋さんは10月3日、仙台市青葉区のエル・パーク仙台

次回29日「健康づくりにも効果」

※ご希望の方は、講演の聴取資料(500円)を郵送いたします。お問い合わせください。

主催 NPO 法人創る村 「リズム&スピリット」 研究室

〒981-0413 宮城県東松島市新東名4丁目6-1 TEL0225-88-3793 fax0225-88-4118

R E C T U R E R

音楽の正体

IDENTITY OF MUSIC

3

～演奏法…「書は体をあらわす」～

2010年1月11日(月・祝日)

仙台市青年文化センター 第一練習室

1部 午後1時～2時

2部 午後2時15分～3時45分

入場無料 資料費500円

講師 飴屋善敏

ベルカント唱法をアリゴ・ポーラ(三大テノールの一人、パヴァロティを育てた名教師)、指揮法をハンス・コロロイター、演奏法をヨゼフ・モルナール各氏に師事。昭和音楽大学、宮城教育大学、創造学園大学等を歴任し、身体表現法、演奏法の研究を続け、作曲の作品も多い。NPO法人創る村創設者。現在、音楽評論家。

主催 NPO法人「創る村」
「リズム&スピリット」研究室

S. Ameyo

